



ル一
テル

藤が丘だより

発行 月報委員会

発行日 2025年5月4日

No. 132

わたしを見たから信じたのか。
見ないのに信じる人は、幸いである。

ヨハネによる福音書 20章29節・新共同訳



わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

ローマの信徒への手紙 12章15節

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp



先週、2つの「まだ」について聞きました。「まだ暗いうちに」、「まだ理解していなかったのである」の2つです。この「まだ」は希望を予測させる「まだ」です。イザヤ 60 章に次のようにあります。「見よ、闇は地を覆い／暗黒が国々を包んでいる。しかし、あなたの上には主が輝き出で／主の栄光があなたの上に現れる」。

2つの「まだ」は、1つの「しかし」に導かれるのです。人間の側には「まだ」という不確定要素があるのですが、続く「だが」「しかし」に神の希望があるということです。

今日の福音の日課、ここにも2つの「まだ」があると言えるでしょう。第1にそれは、「弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた」ということであり、第2にそれはその場になかったトマスが、信じなかったということです。

復活の主は「見ないで信じる人は幸い」と言いましたが、それは、「まだ」という生き方から「しかし」という生き方への招きではないのでしょうか。

これまでも何度か触れてきたことですが、聖書を読む時に欠かせないことは、誰が主語であるかを知ることです。このことに触れる時、私を取り上げるのはマタイ 20 章にある「ぶどう園の労働者のたとえ」になります。労働者たちは、働いた報酬と考えたため、一日の終わりに支払われた「一デナリオン」に不満を持ったのでした。人を主語としている限り読者である私たちも、労働者に同意してしまうのです。私たちは知らなければならぬのです。このたとえの主人公は、ぶどう園の主人なのであり、労働者ではないのです。「同じように支払ってやりたい」という

主人の思い、ここに神の御心が示されているということなのです。

聖書において、常に神が主語であり人ではないのです。すべてにおいて、神に理由があるのであって、それは人ではないということなのです。今日、復活の主が来て真ん中に立ってくださるのは、このことを教えているのです。

先週の主の復活の朝の場面で、そして今日の福音の日課で、2つの「まだ」に触れました。「まだ暗い」「まだ理解していなかった」とありましたが、人間の思いによったために、分からなかった、恐れていたことを言っているのです。

弟子たちにしてもトマスにしても、「見て信じた」という点で違いありませんから、今日のポイントは、「見ないで信じる」ということになるでしょう。見えないけど、真ん中に立つ主を感じる信仰へと、私たちが招いているということです。

今日私たちが耳にしたのは、恐れる弟子たちに、信じられないトマスのために「真ん中に来て、立たれた」ことです。トマスの姿から教えられるのは、その場に、私たちが居合わせる必要があるということです。

礼拝とは、週の初めの日に集められる場。主の復活を祝うということです。礼拝のたびに「見ないで信じる人は幸いである」と告げられているものです。

日々の生活の中で「まだ」という世界に生きる私たちがいます。「しかし」その私たちが憐れむ主は、私たちが新たにするのです。こうして私たちは、神を主語として「しかし」と言われる神の世界に生きるのです。(復活節第2主日)

ええーっ！教会でマー جانとびっくりされる方がいらっしゃるかもしれません。でもこのマー ジャンの前に健康が付くのです。

巷では今、この健康マー ジャンが静かなブームになっているのをご存知でしょうか？高齢者施設で、また小中学生の間で、というのも、マー ジャンをすることで、いろいろな良い効果が生み出されているかららしいのです。

昨年 NHK で放映された某番組で、私もこの健康マー ジャンを知り、人やものの名前が直ぐ出てこない、探し物をよくするなど、最近顕著になってきた記憶力の衰えに危機感を覚え、これはやるしかないと思ったのが事の発端です。

名○兄が昔から地域のボランティアでマー ジャンを教えていらっしゃるのをお聞きしていましたから、早速名嘉兄にコンタクト、快く承知し教えて下さることに。さて、どこでいつ行うか、人集めをどうするかなど決めなければいけません。拙宅、すすきの団地の集会所、教会と考えましたが、参加される方々にとって（この段階で4名参加が決まっています）アクセスの良い場所ということで教会が一番良いのではということになり、佐藤牧師、役員会のお許しを頂き、教会で毎月第

一&第三月曜日の13:00～15:00で実施することになりました。11月から始め、教会員にもお声掛けし、現在8～10名の方々が参加されています。良き指導者（名○兄、永○姉、田○兄）にも恵まれ、私のようなマー ジャンをやったことのない方々も和やかで楽しい二時間を過ごしています。

マー ジャンの効用

高齢者には

①脳の活性化が促されることで、認知症の予防に繋がる

② 脳疲労や免疫力低下を防止する

③ 仲間づくりや生きがいづくりにつながる子どもたちには

④ おじいちゃんやおばあちゃんなど幅広い世代とゲームを通して交流できる

⑤ 牌を覚えたり、考えながら手を動かしたりするなど、目で情報処理をおこなうことによって短期記憶や集中力の向上につながる等々

頭、心、体を可能な限り元気に保つための一つの選択肢として

The door is always open to everyone.

ということで、みなさん、是非参加してみませんか？



●奏楽奉仕に思うこと

○小○美○子

音楽的素養のない私が奏楽奉仕をさせて頂くようになって早十数年になりますが、いまだに奏楽担当番表が送られてくる度に頭を抱えてしまいます。

他の奏楽者（みな素晴らしい方々です）の皆さんと比べて極端にレパートリーの少ない私にとって毎回前奏&後奏の曲選別に四苦八苦しています。

こんな私ですが、ひと月に一度奏楽者として用いられていることに感謝です。

○定○○子

私は2020年のコロナ禍の最中に、神様のお導きにより、藤が丘教会へ入会させていただいた者です。

小さな頃より音楽に親しんできましたので、その音楽でご奉仕できることに感謝しています。

讃美歌の伴奏を通して、教会信徒の皆さまと共に、心を合わせて神様を讃えることは、私にとって大きな喜びです。

いわゆる団塊世代ですので、年齢的にあと何回ご奉仕できるかなと考えるこの頃です。

●CS イースターのこと

2日前まで「雨」の予報だったイースターの朝、なま温かい、まだ乾いた空気にささえられて、藤が丘第3公園で礼拝とタマゴ集めゲームをしました。佐藤先生のお話にはドラえもんが登場し、とてもわかりやすく、初めて聖書の解き明かしを聴くこどもにも笑顔が見られました。

礼拝のあとは、大人の見守りとご協力のおかげで、こどもたちは安心して走りまわり、楽しいひとときを過ごしました。お菓子などの封入やタマゴケースのご提供、ゲームの進



今月、受洗記念日を
迎えた方々

14日 ○田○兄 名○恵○子姉
15日 上○○哉兄 17日 ○田知○恵
姉 21日 ○藤○子姉 25日 ○野○
兄 26日 ○谷かな○姉
27日 ○田○子姉

おめでとうございます。



わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう
「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」
ローマの信徒への手紙12章15節

●藤が丘教会の情報は、右のQRコードから



行まで、保護者と教会員有志にお世話になりました、ありがとうございました。

●シリーズ・ロウソク物語

【第2回・ロウソクの豆知識】

①「シャンデリア」の語源はロウソクにあった。

シャンデリアの語源は、フランス語のロウソクを意味する「シャンデル (Chandelle) からきています。17~8世紀のフランスの宮殿では、シャンデリアに多数のロウソクを灯し、豪華な照明を作り出していました。

【番外編】ちなみに、クリスマスツリーに最初にロウソクを飾ったのは、マルティン・ルターであったのは有名です。シャンデリアの一世紀前のことです。



スマートフォンで、こちらのQRコードを読み込むと、教会のさまざまな情報を、確認出来ます。